



Title	Gallia48号 あとがき・奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 2009, 48, p. 111
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/21730">https://hdl.handle.net/11094/21730</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## あとがき

昨年3月に柏木先生が定年退職されてから一年が経ちました。柏木先生は「太陽」、私は「月」…本会の会長になっても、フランス文学研究室の主任教授になっても、「月」が突然「太陽」に変身するものでもなく、学部生も大学院生も減少する中、言語文化研究科の先生方の協力を得て、元気一杯の深川助教に助けられながら、なんとかがんばっています。研究室の主役はなんと言っても学生たちで、研究室の明るさに変りはありません。今年度はフランスの著名な小説家ジャン・エシュノーズ氏、リュック・ラング氏の講演会を開催しましたが、学生たちが積極的に発言してくれたことは頼もしいことでした。そして何よりも同窓生の皆様とガリア会員の皆様のご支援を頼りにしている次第です。

文学部の校舎が新しく生まれ変わります。2年間かけて全面的な改装工事が行われ、本年秋頃には完成の予定です。そのためフランス文学研究室は今年4月から10月頃まで基礎工学部の校舎に仮住まいをすることになります。今から少しづつ身辺の整理を始めながら、移転の準備をしているところですが、とりわけ膨大な数にのぼる研究書の移動には頭を悩ませています。半年間の仮住まいとはいいうものの、その間も教育・研究活動を停止するわけにはいかず、学生たちの勉学環境を確保することに最大限の努力をしなければなりません。

古くて、狭くて、決してきれいとは言えない仏文学研究室も、同窓生の皆様にとっては青春の思い出が詰まったなつかしい場所です。新校舎における私たちの研究室はこれまでのよう3階ではなく、4階に移動します。つまりすっかり様変わりしてしまいます。『ガリア』今号が皆様の手元に届く頃はちょうど引越準備で混乱している時期ではありますが、なつかしい場所を今一度見る最後の機会ですので、お立ち寄りいただければ幸いです。

(和田 章男)

### GALLIA XLVIII

2009年3月1日印刷・3月7日発行

編集発行者

大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 和田 章男

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : [contact@gallia.jp](mailto:contact@gallia.jp)

URL : <http://www.gallia.jp/>